

前回デジタル戦略方針（Phase 1）

1. 建築設備DXの推進

- ・設計・施工BIMの推進
- ・DX推進による施工効率化
- ・ICT高度活用に向けた研究開発

- ・BIMの普及は「設計・施工フェーズのBIM運用マニュアル」を作成し事業所展開するとともに、BIMプロジェクト対応の支援およびBIM技術者の育成教育を実施した。ダイダンBIMの確立は、BIMソフトの社内展開・運用支援およびBIMの業務プラットフォームとしてダイダンRevitテンプレートver1.0を作成した。
- ・タブレット・アプリの積極導入、RTRによる遠隔現場支援により施工効率化を図った。
- ・現況記録技術の開発や省エネ最適化AIなどの新ツールの開発、各ツールの現場試行など、ICT高度活用に向けた研究開発を行った。

2. IT基盤の整備・拡充

- ・DXによる働き方改革の推進
- ・クラウド活用
- ・ハード・通信環境の整備・拡充

- ・DXによる働き方改革の推進は、Microsoft365（社内ポータル・OneDrive・Teams等）を導入し、社内外のコミュニケーションツールの充実を図るとともに、電子捺印回付サービス（シャチハタクラウド）やペーパーレス会議、経費精算システム（コンカー）等を導入してペーパーレス化を進め、RPAなどにより業務量の削減を図った。
- ・システム基盤の整備として、ハードウェア更改を行い、全社情報システム（全サーバー）のクラウド化を実現した。
- ・ITインフラの環境は、社内ネットワークの更改で新ネットワークを導入し、セキュリティを強化した。現在は、本部・事業所の無線LANを進めている。

3. IT・デジタルガバナンスシステムの整備・強化

- ・情報セキュリティの強化
- ・IT・DX推進体制の強化
- ・重要成果指数による評価
- ・情報発信

- ・情報セキュリティの強化は、ランサムウェアに対応したEDRを導入し、サイバー攻撃やウイルス対策の強化を図った。また、作業所の情報セキュリティガイドラインを改訂し、現場のセキュリティ教育やセキュリティパトロールを強化した。
- ・IT・DX推進体制の強化として、94期に経営企画室にDX推進部を設立し、95期に経営企画本部配下に情報管理部を置き、体制を強化した。
- ・重要成果指数として、DXを通じた事業環境の変化への対応にKPI（現場支援リモートチーム実施現場数など）を設定し、目標値を達成した。
- ・情報発信は、ダイダンレポート、社外HP掲載資料、IR説明資料等で、実行状況を社内外へ開示した。